

日本の桜をこよなく愛し、日米桜寄贈事業に貢献した女性記者
エリザ・シドモアが撮影した 100 年前の美しき日本の写真を本邦初公開!!

ナショナル ジオグラフィック チャンネル

日米桜寄贈 100 周年「エリザ・シドモア」写真展 開催

ランドマークプラザ(横浜)にて、3月31日(土)~4月8日(日)

ドキュメンタリー専門のナショナル ジオグラフィック チャンネル(以下ナショジオ、運営:FOX インターナショナル・チャンネルズ株式会社、本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小泉喜嗣)は、日米桜寄贈事業に貢献した女性記者、エリザ・シドモアが約 100 年前に日本で撮影した写真でナショナル ジオグラフィック協会が所蔵する写真27点を、「**ナショナル ジオグラフィック チャンネル 日米桜寄贈 100 周年「エリザ・シドモア」写真展**」としてランドマークプラザ(横浜)にて展示いたします。尚、本写真展は、外務省の日米桜寄贈 100 周年事業の一つとして開催されます。

エリザ・シドモアは世界を旅しながら、「ナショナル ジオグラフィック」誌に各地の記事を寄稿していたジャーナリストです。

日本には、1884 年 27 歳の時に来日し、日本の美しさ、特に春咲き誇る桜に魅せられました。彼女はワシントンD.C.のポトマック河畔を、愛する日本の桜で彩りたいと願い、その後約 25 年もの間、ワシントンの公的機関に陳情を重ね、日米桜寄贈事業を実現に導きました。それが今から 100 年前、1912 年 3 月にワシントンに到着した 3000 本の桜です。また、シドモアは、当時「ナショナル ジオグラフィック」誌の記事の中で、日本の美しさ、日本国民の礼儀深さを称賛し、また、1896 年 6 月に三陸地方を襲った津波にも触れています。今日世界中で定着した「TSUNAMI(津波)」という言葉が西洋社会に初めて伝えたのが彼女だという事実も、日本との深い繋がりを感じさせるエピソードです。



日米桜寄贈事業 100 周年となる今回、日本を世界に向けて紹介し、日米友好の橋として活躍したシドモアが撮影した、本邦初公開を含む 100 年前の日本の写真 27 点を展示いたします。また、日米桜寄贈事業の歴史背景、シドモアの功績の数々等をパネルにて展示いたします。

開催日初日には、写真展 PR サポーターで、今夏公開予定のシドモアの半生を取り上げた映画「サムライガール! エリザ・シドモア」(仮)で初監督デビューをする、歌手の白井貴子さんをお招きし、オープニング式典を行います。シドモアが賞賛した「日本人が世界に誇れる日本」の世界観を、当時の写真を通じて感じて頂ければ幸いです。

ナショジオは今後も放送、イベントを通して、皆様の知的好奇心を刺激するような企画を実施していく所存です。どうぞご期待ください。

■ナショナル ジオグラフィック チャンネル 日米桜寄贈 100 周年「エリザ・シドモア」写真展

日時:3月31日(土)~4月8日(日)7:00~24:00(ランドマークプラザ開館時間) ※最終日4月8日のみ21時30分まで

場所:ランドマークプラザ 1F フェスティバルスクエア

主催:FOX インターナショナル・チャンネルズ株式会社

協賛:第一三共株式会社

後援:外務省・横浜市・横浜日米協会

協力:三菱地所株式会社・シドモア桜の会

オープニング式典出演者:写真展 PR サポーター 白井貴子さん(歌手)、来賓ゲスト(横浜市関係者)

*オープニング式典の詳細は次ページをご参照ください。



■ オープニング式典

日時:3月31日(土)11時～

場所:ランドマークプラザ 1F フェスティバルスクエア <写真展会場入り口>

式典内容: 開会挨拶(主催)

来賓ゲストによる挨拶(横浜市関係者)

オープニングテープカット :PR サポーター 白井貴子(歌手)、来賓ゲスト

インタビュー:白井貴子(歌手、「サムライガール エリザ・シドモア」映画監督)

写真クレジット: ©Reflections of Japan:Photographs by Eliza Scidmore is organized by the National Geographic Society

*1 写真 27 点のうち、一部の写真は、以前「ナショナル ジオグラフィック」誌で紹介されています。

<参考資料>

【エリザ・シドモア プロフィール】



エリザ・R・シドモア
Eliza Ruess Scidmore
(1856-1928)

1856 年生まれ。新聞記者、紀行作家、写真家。

アメリカの「ナショナル ジオグラフィック」には 1890 年から 13 年間所属。女性として初めてナショナル ジオグラフィック協会の役員になった人物。

日本には、1884 年 27 歳の時に初めて来日。その後、何度か来日し、横浜・山手に住んでいた。ナショナル ジオグラフィック記者としては、本誌に 3 度、日本を紹介。彼女は日本をこよなく愛し「ナショナル ジオグラフィック」誌では日本を賞賛し世界に伝えた。また、その記事のうち一つが 1896 年 6 月 15 日の三陸沖大地震に被害を取材したものである。津波被害の写真と共に惨状を伝えた記事では、「TSUNAMI (津波)」という言葉の世界に初めて発信した。

特に日本の桜を愛していた彼女は、アメリカ ワシントン当局に日本の桜を取り入れるよう約 25 年間もの間進言し、旧知の仲にあったヘレン・タフトが大統領夫人になったことから、彼女の協力を得て日米桜寄贈事業を実現に導いた。その後、シドモアは 1925 年アメリカを去り、スイスに移り住み、1928 年 72 歳で死去。

在日米領事であった兄や母とともに、横浜外国人墓地で永眠。その傍らには 1991 年にワシントンから里帰りした桜の樹が植えられている。

著書:「Jinrikisha Days in Japan」(「日本・人力車旅情」恩地光夫 訳 昭和 61 年刊、有隣堂)ほか多数

【PR サポーター :白井 貴子さん(歌手)】



1981 年デビュー。「CHANCE」のヒットで女性ポップ・ロックの先駆者的存在に。

2010 年第 61 回「全国植樹祭」かながわ大会テーマソング「森へ行こう！」作詞・作曲。

2011 年春、映画「TAKAMINE・アメリカに桜を咲かせた男」主題歌「SAKURA SAKURA 幸せの架け橋」担当。夏、陸前高田復興祭「きてけらっせ」にて陸前高田の子供達と制作した「松の花音頭」を発表。

映画「TAKAMINE」の主題歌を歌った縁で、100 年前に高峰博士と共に米国に桜を贈る事業に尽力した女性、エリザ・シドモアを主人公とした映画「サムライガール! エリザ・シドモア」(仮題・今夏公開予定)で映画監督に初挑戦。

神奈川県環境大使・横浜市 Y E S 環境アンバサダー・小田ふるさと大使。

【開催場所「ランドマークプラザ」について】

地上 70 階、高さ 296m、日本一の超高層ビル「横浜ランドマークタワー」に隣接する「ランドマークプラザ」は約 170 店の個性豊かなショップ&レストランが揃った巨大ショッピングモール。



【ナショナル ジオグラフィック チャンネルとは】 ngcjapan.com/tv
ドキュメンタリー専門の有料チャンネルです。

FOX インターナショナル・チャンネルズ株式会社が運営し、スカパー! 全国のケーブルテレビおよび IPTV でご覧いただけます。

ナショナル ジオグラフィック チャンネルは世界基準の撮影技術・CG や演出でお届けする驚きの映像の数々で、視聴者の好奇心を刺激し、感覚を研ぎ澄まします。現在世界 173 か国、4 億 3500 万世帯に視聴されており、この地球と宇宙の全ての「ありのままの世界を」ご家庭にお届けします。

<本件に関するお問い合わせ先>

FOX インターナショナル・チャンネルズ PR 事務局(株)プラチナム内)

担当:福田・浜木 TEL : 03-5572-6072 FAX : 03-5572-6075 E-mail : t-fukuda@vectorinc.co.jp